

令和5年 3 月 31 日

森町長 太田康雄 様

公立森町病院経営改革プラン評価委員会
委員長 高橋 泰

令和4年度森町病院事業経営改革プラン評価委員会 意見書

森町病院事業経営改革プラン評価委員会において、令和4年度取り組み結果・評価及び令和5年度事業計画（案）について協議した結果、以下のとおり意見書として提出する。

評価総括： 中東遠医療圏の高齢化率は他の地域と比較して高くないが、高齢化が進んでいる他の医療圏では、既に介護も含めてピークアウトが始まっている地域もある。森町も近い将来外来がピークアウトに近づく可能性もあるが、整形外科領域はしばらく患者が増えると予想する。その他の疾患については高齢化率や人口動態に合わせて今後どのように推移するか、疾患別の検討が必要である。

職員アンケートの結果から、職員の意欲、満足度はともに高く理想的な状態で、活発に活動する組織風土があるが、教育・育成制度の充実度が他の病院と比べて若干低いと考えられるため、eラーニングを取り入れるなど教育・研修制度の充実を図り、受講の徹底を図っていただきたい。

整形外科は手術を中止し患者を他の病院に紹介していたが、来年度は整形外科常勤医師2名の採用が決まっており、ほとんどの手術が当院で可能となる。術後は、院内の回復期リハビリ病棟に入院して在宅復帰に向けたリハビリを行い、退院後は通所リハビリに繋げることで、確実に収益は向上する。手術の再開等の整形外科の体制充実の周知やPRが重要である。

24時間対応可能な在宅医療等、高齢化の進展に合わせて在宅医療の充実・強化がこれからのトレンドとなる。家庭医療センターと連携して、単価アップに向けた取組みの検討をしていただきたい。

コロナ病床確保等に関する補助金については、もれなく確保できたのか検証が必要である。

(1) 令和4年度 第4次経営改革プラン取組結果・評価について

①看護師の確保対策について

中東遠管内には6市町で運営する東海アクシス看護学校があり、各市町で学生に奨学金を貸与している。卒業後、中東遠管内の病院に勤めれば返済が免除されることもあり、卒業生のほとんどが管内の病院に勤務していることから、当該看護学校は看護師確保の面で貢献が大きい。

②コロナの影響による職員のストレスについて

コロナ患者を受入れる病院の医療従事者の20%はメンタル面で病んでいるというデータもあり、当院においてもその対策には力を入れていかなければならない。お互い話し合う顔の見える関係性の構築が重要である。

院内クラスターの発生時には、近隣病院の連携とバックアップ体制の構築が重要で

ある。

③職員アンケート結果について

職員アンケートの結果から、職員の意欲、満足度はともに高く理想的な状態で、活発に活動する組織風土があるが、教育・育成制度のうちコミュニケーション能力や接遇等の充実度が他の病院と比べて若干低いと考えられるため、eラーニングを取り入れるなど教育・研修制度の充実を図り、教育・研修受講の徹底を図っていただきたい。

④森町における高齢者の内科疾患や整形疾患の見込について

高齢化が進むと内科疾患と整形疾患が圧倒的に増える。内科疾患は介護需要が増え、日頃の生活を継続することが困難な方が増えるため、日頃の生活をバックアップする慢性疾患への対応や介護施設のバックアップ入院機能を行う。

来年度浜松医大から2名の整形外科常勤医師が派遣され、手術の再開が入院患者の増加に繋がり経営的にも期待できる。

⑤医師の宿日直許可について

土日の日直は比較的軽症の患者が多く来院するため、日直の許可取得は難しいが、受診制限をしている深夜帯の部分は宿直許可を取得する。

⑥看護師と看護補助者の処遇改善について

看護師の処遇改善は、月額12,000円の賃金引き上げを実施しているが、看護補助者については、近隣病院と調整して支給していない。

⑦コロナ患者の受入れについて

森町病院が1月にコロナ病床を増床し、浜松、磐田、掛川で入院を断られた患者を受入れたことが、県西部地区の病床逼迫を防いだ一番の要因であり大きな役割を果たした。

(2) 令和5年度 事業計画(案)について

①ポスト・アキュートの実態について

磐田病院の急性期病棟からのポスト・アキュートの患者を地域包括ケア病棟で受入れる比率はかなり少なく、リハビリ目的の回復期リハビリ病棟での受入れが多い。磐田病院との連携を強化し、ポスト・アキュート患者受入れにも注力すべきである。

②地域包括ケア病棟の患者動向について

地域包括ケア病棟の稼働率や訪問診療件数は、医師や看護師の数で受入可能数が決まるため制約がかかる。地域包括ケア病棟の入院制限のため、在宅医療が増えている部分もあり、地域包括ケア病棟の稼働率を上げると訪問診療が減るかもしれない。

当院は、急性期、地域包括ケア、回復期リハビリ、在宅医療の4つの選択肢を上手く組み合わせていくことが強みである。

③整形外科常勤医師2名増による収益向上とPRについて

本年度は整形外科の手術を中止し他の病院に紹介していたが、来年度は整形外科常勤医師2名の採用により、ほとんどの手術が当院で完結する。手術を当院で行った後、院内の回復期リハビリ病棟に転棟して在宅復帰に向けたリハビリを行い、退院後は通所リハビリに繋げることで、確実に収益は向上する。手術の再開等の整形外科の体制充実の周知やPRが重要である。

④人口動態分析について

中東遠地域は若年層の多い医療圏の一つであるが、日本で一番高齢化が進んでいる医療圏では、介護も含めてピークアウトが始まっている。森町も、近いうちに外来がピークアウトするはずであり、疾患によってはピークアウトが始まるものが出てくる。整形外科ではしばらく患者は増えると予想するが、その他の疾患は人口動態に伴う推移について検討をしていただきたい。

⑤在宅医療の強化について

在宅の24時間化等、在宅医療の充実・強化がこれからのトレンドとなる。単価アップに向けた取組みの検討をしていただきたい。

⑥コロナ病床確保の補助金について

コロナ病床確保の補助金は、補助金として活用が十分できたのか検証が必要である。

【日時】 令和5年3月11日（土）午後2時00分～午後4時15分

【場所】 森町家庭医療センター 会議室

【協議事項】

- (1) 令和4年度 第4次経営改革プラン取組結果・評価について
- (2) 令和5年度事業計画（案）について

【報告事項】

- (1) 公立病院経営強化プランの策定について

【出席者】

公立森町病院経営改革プラン評価委員会出席者名簿(敬称略)

	氏 名	役職等	出欠
委員長	高橋 泰	国際医療福祉大学大学院教授	WEB出席
委 員	竹内浩視	浜松医科大学特任教授	出席
	松井 務	浜松医科大学客員准教授	出席
	木村雅芳	静岡県西部保健所長	出席
	鈴木勝之	磐田医師会長	出席
	岩谷信行	森町医会代表	欠席
	川崎義夫	学識経験者	出席
	中根幸男	森町議会議長	出席
	高野一利	森町病院友の会会長	出席
	佐藤嘉彦	森町役場企画財政課長	出席
	平田章浩	森町役場福祉課長	出席
	朝比奈礼子	森町役場健康こども課長	欠席
	小澤貴代美	森町役場健康こども課長補佐	代理出席

中村昌樹 公立森町病院長
朝比奈直之 公立森町病院事務局長

出席
出席

計 14 名